

## 安全データシート

1/16

製品名:ザイロン(PS系非難燃)

SDS 整理番号:XY-J009-10

作成:平成15年10月01日

改訂:平成25年7月3日

## 1. 製品及び会社情報

製品名	ザイロン™ 1000H, 600H, X0305, 500H, X0061, X0454, X0055, 300H, X0105, 200H, VN70H, VN20H, FL50H, FL30H, W5000, P4801, X0311, X0708, X0710, X0714, X0718, X0722, X5510, X5516, X5518, X5520, X9657, X9660 G701H, X2007, G702H, G812H, X2230, X2231, X1584, G703H, X304H, X604H, X8911, X404H, X352H, ST52H, X552H, Z552H, X533H, X434H, X444H, WG710, WG720, WG730, WG731
SDS 整理番号	XY-J009-10
会社名	旭化成ケミカルズ株式会社
住所	〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地 神保町三井ビルディング
担当部門	機能樹脂事業部
連絡先	機能樹脂開発・マーケティング推進部 ザイロン営業部 TEL : 03-3296-3386 FAX : 03-3296-3473 機能樹脂開発・マーケティング推進部 自動車材料グループ TEL : 052-212-2133 FAX : 052-212-2229
緊急連絡先	機能樹脂事業部 機能樹脂開発・マーケティング推進部 機能樹脂技術部(ザイロン担当) TEL : 044-271-2561 FAX : 044-271-2166 受付時間 平日 09:00~18:00
奨励用途 及び 使用上の制限	<奨励用途> 家電用途、電子材料、自動車、工業材料等の用途のプラスチック原料  <使用上の制限> 弊社ザイロンは、以下の用途には使用しないでください。 ・体内、粘膜、体液、血液、薬液などに触れる医療容器・包装・用具・部品 ・食品容器・包装・器具・部品、飲料水などに触れる器具、部品 ・口に触れる玩具、飲料水などに触れる玩具
 *以下のグレードは飲料水用途向けに適合しています。 詳細は上記機能樹脂技開部開発・マーケティング推進部 ザイロン営業部にお問い合わせ下さい。	
W5000, WG710, WG720, WG730, WG731	

AsahiKASEI

旭化成ケミカルズ

2/16

製品名:ザイロン(PS系非難燃)

SDS 整理番号:XY-J009-10

作成:平成 15 年 10 月 01 日

改訂:平成 25 年 7 月 3 日

安全データシート

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS の分類】

健康に対する有害性	分類できない
環境に対する有害性	分類できない

## 【GHS ラベル要素】

絵表示またはシンボル	なし
注意喚起語	なし
重要危険有害性情報	なし
特有の危険有害情報	樹脂ペレットであるため、着火すると燃える。 溶融状態で、ガスを発生する。

## 【注意書き】

安全対策

- ・全ての安全注意を読み、理解し、予防対策をするまで取り扱わないこと。
  - ・本製品を使用する時に、その場で飲食又は喫煙しないこと。
  - ・必要に応じて保護手袋、保護眼鏡を着用すること。特に溶融した樹脂を取り扱う際は火傷防止を図ること。
  - ・押出し加工時にはガスが発生するので、有効な局所排気装置等を設置すること。

3 組成、成分情報

化学名または一般名：

ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニレンオキサイド)と、ポリスチレン、エラストマーの混合物

成分及、含有量、官報公示整理番号、及び CAS No.

グレード名 : 1000H, 600H, X0305, 500H, X0061, X0405

## 安全データシート

グレード名:X0055, 300H, X0105, 200H

成分	含有量(wt%)				官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	X0055	300H	X0105	200H		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	30-40	20-30	10-20	10-20	(7)-1241	25134-01-4
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	55-65	65-75	75-85	75-85	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有 (非公開)	非公開
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	登録有 (非公開)	非公開
石油系炭化水素油(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有 (非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	-	-

グレード名:VN70H, VN20H, FL50H, FL30H, W5000

成分	含有量(wt%)					官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	VN70H	VN20H	FL50H	FL30H	W5000		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	50-60	5-15	35-45	10-20	35-45	(7)-1241	25134-01-4
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	20-30	65-75	45-55	65-75	50-60	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	5-15	5-15	0-3	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-5	3-10	3-10	3-10	0-3	登録有 (非公開)	非公開
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素油(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有 (非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	100	-	-

グレード名:P4801,X0311, X0708, X0710, X0714

## 安全データシート

成分	含有量(wt%)					官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	P4801	X0311	X0708	X0710	X0714		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	30-40	30-40	25-35	30-40	30-40	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物						(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	45-55	45-55	50-60	45-55	45-55	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	3-10	0-3	3-10	3-10	3-10	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有 (非公開)	非公開
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素油(鉱油)	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	登録有 (非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	100	-	-

グレード名:X0718, X0722, X5510, X5516, X5520

成分	含有量(wt%)						官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	X0718	X0722	X5510	X5516	X5518	X5520		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	30-40	35-45	25-35	30-40	35-45	35-45	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物							(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	50-60	40-50	55-65	50-60	40-50	40-50	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	3-10	3-10	3-10	3-10	3-10	3-10	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	3-10	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有 (非公開)	非公開
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素油(鉱油)	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	1-5	登録有 (非公開)	非公開

## 安全データシート

着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	100	100	-	-

グレード名:X9657, X9660

成分	含有量(wt%)		官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	X9657	X9660		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	30-40	30-40	(7)-1241	25134-01-4
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	45-55	45-55	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	5-15	5-15	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	登録有(非公開)	非公開
添加剤(安定剤等)	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素油 (鉱油)	3-7	3-7	登録有 (非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	-	-

化学名または一般名:

ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)と、ポリスチレン、エラストマーと無機フィラーの混合物

成分及、含有量、官報公示整理番号、及び CAS No.

グレード名:G701H, X2007, G702H, G812H, X2230, X2231, X1584, G703H

成分	含有量(wt%)						官報公示 整理番号 (化審法/ 安衛法)	CAS No.
グレード名	G701H X2007	G702H	G812H X2230	X2231	X1584	G703H		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)							(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジ オン付加物	25-35	30-40	40-50	45-55	10-20	20-30	(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	50-60	35-45	20-30	10-20	45-55	35-45	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	0-5	0-5	3-10	3-10	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有 (非公開)	66070-58-4 and/or 非公開

## 安全データシート

エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有 (非公開)	非公開
無機フライヤー (ガラス状纖維、 ガラス状物質)	5-15	15-25	15-25	15-25	25-35	25-35	非該当 *ガラス状物質に関しては別表参照	65998-17-3
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	<3	<3	登録有 (非公開)	非公開
石油系炭化水素(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有 (非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	100	100	-	-

グレード名:X352H, ST52H, X552H, Z552H

成分	含有量(wt%)				官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
グレード名	X352H	ST52H	X552H	Z552H		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	5-15	20-30	20-30	20-30	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物					(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	60-70	45-55	50-60	50-60	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	0-3	3-10	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有(非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有(非公開)	非公開
無機フライヤー(鉱物)	15-25	15-25	15-25	15-25	非該当	14807-96-6
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有(非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	-	-

グレード名:X304H, 604H, X8911, X404H

成分	含有量(wt%)				官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
グレード名	X304H	604H	X8911	X404H		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	5-15	15-25	15-25	5-15	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物					(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	45-55	30-40	30-40	40-50	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8

## 安全データシート

スチレン系エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有(非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有(非公開)	非公開
無機フィラー (ガラス状繊維、ガラス状物質、鉱物)	35-45	35-45	35-45	40-50	非該当 *ガラス状物質に関しては別表参照	65998-17-3
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有(非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	-	-

## グレード名:X533H, X434H, X444H

成分	含有量(wt%)			官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
グレード名	X533H	X434H	X444H		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	10-20	5-15	5-15	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物				(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	45-55	45-55	45-55	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8
スチレン系エラストマー	0-3	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有(非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	登録有(非公開)	非公開
無機フィラー (ガラス状繊維、ガラス状物質、鉱物)	25-35	35-45	35-45	非該当 *ガラス状物質に関しては別表参照	65998-17-3 12001-26-2
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有(非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	-	-

## グレード名:WG710, WG720, WG730, WG731

成分	含有量(wt%)				官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
グレード名	WG710	WG720	WG730	WG731		
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)	25-35	30-40	20-30	20-30	(7)-1241	25134-01-4
ポリ(2,6-ジメチル-1,4-フェニルオキサイド)の2,5-フランジオン付加物					(7)-2562	219136-76-2
ポリスチレン、ハイインパクトポリスチレン	50-60	35-45	35-45	35-45	(6)-120 and/or (6)-134	9003-53-6 and/or 68954-09-6 and/or 9003-55-8

## 安全データシート

スチレン系エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	(6)-136 and/or 登録有(非公開)	66070-58-4 and/or 非公開
エラストマー	0-3	0-3	0-3	0-3	登録有(非公開)	非公開
無機フィラー (ガラス状纖維、ガラス状物質)	5-15	15-25	25-35	25-35	非該当 *ガラス状物質に関して は別表参照	65998-17-3
添加剤(安定剤等)	<3	<3	<3	<3	登録有(非公開)	非公開
石油系炭化水素(鉱油)	0-0.5	0-0.5	0-0.5	0-0.5	登録有(非公開)	非公開
着色剤	0-6	0-6	0-6	0-6	別表参照	別表参照
合計	100	100	100	100	-	-

## 【別表1】着色剤

成分	含有量 [wt%]	官報公示整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
カーボンブラック	0-3	対象外	1333-86-4
酸化チタン(IV)	0-5	1-558	13463-67-7
酸化鉄	0-5	1-357	1309-37-1
酸化チタン(IV)化合物		1-558	13463-67-7 等(非公開)
酸化鉄化合物		1-357	1309-37-1(非公開)
アンチモン化合物		1-543	68186-90-3 等(非公開)
酸化クロム(III)化合物		1-284	68186-90-3 等(非公開)
酸化コバルト化合物		1-267	非公開
シリカ		登録済み	非公開
銅化合物		登録済み	非公開
酸化ニッケル(II)		1-517	非公開
その他	0-5	登録済み	非公開
計	0-6		

## 【別表2】ガラス状物質に含まれる金属酸化物及び元素

ガラス状物質は下記別表に記載された安定した金属酸化物を含む酸化珪素の網目構造化合物である。

成分	含有量 [wt%]	化学式	官報公示 整理番号 (化審法/安衛法)	CAS No.
二酸化珪素	52~56	SiO2	(1)-548	7631-86-9
酸化アルミニウム	12~16	Al2O3	(1)-23	1344-28-1
酸化鉄	0~0.4	Fe2O3	(1)-375	1309-37-1
酸化カルシウム	16~25	CaO	(1)-189	1305-78-8
酸化マグネシウム	0~6	MgO	(1)-465	1309-48-4
酸化硼素	5~8	B2O3	(1)-71	1303-89-2
二酸化チタン	0~1.0	TiO2	(1)-558	1344-54-3
フッ素	0.1~1	F	対象外	7782-41-4
酸化ナトリウム		Na2O	(1)-495	1313-59-3
酸化カリウム	0~0.8	K2O	(9)-2423	12136-45-7

## 安全データシート

本製品を構成する全ての原材料は、ENCS/ISHL(日本)、TSCA(米国)、EINECS/ELINCS(欧州)、IECSC(中国)のインベントリーに掲載されています。

色番号によっては、日本、米国及び欧州を除く、いくつかの国において登録されていない染顔料を用いているものがあります。

### 4. 応急措置

ペレットを飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合は、直ちに吐き出し、異常があれば医師の診断、手当てを受けること。
ペレットが目に入った場合	目に入った場合は、擦らず、大量の水で洗浄する。この時、コンタクトレンズは直ちに取り外す。異常があれば、眼科医の診断及び手当てを受けること。
溶融樹脂が皮膚に付着した場合	溶融物を引き剥がさず、直ちに大量の水で患部を30分以上冷却する。その後、医師の手当てを受けること。
溶融物から発生したガスを吸入した場合	気分が悪くなった場合には、直ちにその作業場から離れ、換気の良い場所に移り、必要に応じて医師の診断を受けること。
救急措置をする者の保護	体に異常を訴える者は、医師の診断を受けること。

### 5. 火災時の措置

消火剤	注水、水噴霧、各種消火器等を用いることができる。
火災時の特有の危険有害性	火災時には、強い熱、黒煙、CO <sub>2</sub> 、CO等のガスが発生する恐れがある。
特定の消火方法	一般の火災と同じ消火法を用いる。安全な距離から消火を行う。
消火を行う者の保護	消火作業をするときは、防火服と呼吸器具を着用する。風上から消火する。

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	ペレット、粉末共に床面に残ると滑る危険性があり、速やかに清掃する。
保護具及び緊急時措置	作業の際は適切な保護具を着用し、粉塵、ガス(高温時)を吸入しないようにする。
環境に対する注意事項	排水系などの水面へ漏出した場合は、鳥類、魚類等への悪影響を考え、全て回収すること。
回収、中和、封じ込め、及び洗浄方法	掃き取り、若しくは掃除機による除去を実施し、回収後、廃棄する。
二次災害の防止策	特になし

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取り扱い

## 安全データシート

技術的対策	溶融樹脂を取り扱う時は、保護眼鏡、耐熱手袋、長袖の作業着を着用し、火傷の防止に努めること。また、溶融樹脂からは、ガスが発生する為に吸入を避ける様に勤めること。
局所排気・全体排気	押出機、或いは射出成型機等を用いて溶融樹脂を取り扱う時には、ガスが発生する為、発生個所では、有効な局所排気を実施すること。また、上記作業を実施する、建屋内、あるいは作業スペースでは、換気扇等による全体換気に努めること。
火気への注意	<p>ペレット状の本樹脂は、常温では、引火、爆発のおそれは無く、難燃性の樹脂組成物であるが、近傍で火災が発生した場合には、ガスを発生し、消火活動が困難になることがある。このため作業場の整理整頓に努め、火気をみだりに使用しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)裸火を用いる暖房(ストーブ等、焚き火等)の禁止。</li> <li>(2)マッチ、ライター等の携行及び喫煙の禁止。</li> <li>(3)静電気発生を防止の為、使用する機器等(押出機、成型機、空送ライン、バグフィルター等)への接地(アース)を実施すること。</li> <li>(4)使用する工具はスパーク等火花の発生しない安全工具とする。</li> <li>(5)その他、着火源となるものの発生及び接近を避ける。</li> </ul>
安全取扱い注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)本製品を使用する時に、飲食をしない。</li> <li>(2)床上にこぼれた場合は、常に清掃して取除く。放置すると足もとが滑って転倒を招く恐れがある。</li> <li>(3)正しい作業手順を定め遵守する。</li> </ul>
保管	<p>以下の様に適切な保管条件を満足する場所で保管すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)直射日光の当たらぬ場所に保管する</li> <li>(2)高温多湿な場所を避けて保管する。</li> <li>(3)発火源から離れた場所で保管する。</li> <li>(4)静電気災害を防止する対策を取る</li> </ul>
安全な容器包装材料	保管条件を満足できる包装容器材料であること。

## 8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	設備対策は第7項を参照のこと。取り扱い場所ではシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。また、「火気厳禁」「関係者以外立ち入り禁止」「長袖着用」など、注意喚起を促す表示を見やすい所に表示する。
管理濃度、許容濃度	樹脂の溶融物から、ガスが発生するが、管理濃度・管理濃度は設定されていない。

## 安全データシート

粉塵

日本産業衛生学会、ACGIH とも本樹脂の許容濃度は定めていないが、  
粉塵に関しては、次の値が適用される。(文献 3)、(4)、及び(5))

	時間荷重平均値	
	吸入性粉塵	微粉塵
日本産業衛生学会(2012 年) 第三種粉塵	2mg/m <sup>3</sup>	8mg/m <sup>3</sup>
ACGIH (2012 年)	Respirable	Inhalable
	一般粉塵	3mg/m <sup>3</sup>
		10mg/m <sup>3</sup>

## 保護具

呼吸器の保護具

発生ガス、フュームを吸入する可能性がある場所での作業は有機ガス用マスクを着用する。樹脂製品の機械加工、サンディング、バグフィルターからの樹脂紛体の除去、篩分機の掃除など粉塵が発生する作業では防塵マスクを着用すること。

手の保護具

必要に応じ着用が望ましい。特に、溶融した樹脂を取り扱う際は、火傷防止のため、断熱性の良い手袋を使用する。

目の保護具

サイドシール付きの樹脂製保護眼鏡、樹脂製ゴーグル等の着用が望ましい。

皮膚及び身体の保護具

溶融した樹脂を取り扱う際は、長袖の衣服を着用し、火傷防止をはかる。

## 9. 物理的及び化学的性質

&lt;外観&gt;

物理状態

形状	固体、ペレット状
色	黄色～褐色、あるいは着色されている。
臭い	なし
PH	該当せず
融点	明確な融点は存在しない。
分解温度	300°C以上
引火点	400°C以上
発火点	450°C以上
爆発限界	
上限／下限	データなし(粉末状で取り扱う場合は、静電気対策など注意が必要。)
比重(又は密度)	1.05～1.4
溶解性	
水	なし
その他の溶媒	クロロホルム、トルエン、アセトン(ケトン類)などに溶解する。

## 安全データシート

オクタノール／水分配係数

データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性	直射日光を避け、火気や熱源を遠ざけて保存する限り、常温では安定。
反応性	反応性はない。
避けるべき条件	直射日光、火気、熱源、及びその粉塵の形成
避けるべき物質	特になし
危険有害分解生成物	燃焼時には、黒煙、CO <sub>2</sub> 、CO等ガス発生の恐れがある。

## 11. 有害性情報

以下に GHS による分類を示す。下記成分単体における有害性情報は、参考文献 1)、2)、6)に記載されている分類に基づいた。

尚、カーボンブラックの分類は、メーカー情報(参考文献 7)に基づいた。

	樹脂成分 無機フライ その他添加剤	石油系炭化 水素油 (鉱油)	カーボン ブラック	酸化チタン	酸化鉄	複合酸化物	製品としての 分類
含有量	≥87wt%	0~7wt%	0~3wt%	0~5wt%	0~5wt%	0~3wt%	
皮膚腐食／ 刺激性	分類できない	分類できない	分類できない	区分外	区分 2	分類できない	分類 できない <sup>1)</sup>
眼に対する重 篤な損傷性 ／刺激性	分類できない	分類できない	分類できない	区分 2B	区分 1	分類できない	分類 できない <sup>2)</sup>
発がん性	分類できない	分類できない	分類できない	区分 2	区分外	分類できない	分類 できない <sup>3)</sup>
特定標的臓 器毒性 (単回暴露)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分 3 (気道刺激 性)	分類できない	分類 できない <sup>2)</sup>
特定標的臓 器毒性 (反復暴露)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	区分 1 (呼吸器系)	分類できない	分類 できない <sup>2)</sup>

- 分類された化学物質は、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、該当物質がブリードアウトなどにより製品から分離し、皮膚に直接接触する恐れが無い為、「分類できない」とした。
- 分類された化学物質は、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、該当物質が製品から分離して、粉塵、ガス、ミスト、蒸気として眼と接触する恐れが無い為、「分類できない」とした。
- 分類された化学物質の発がん性は、超微粒子酸化チタンの吸入暴露によるラットの肺腫瘍の発生増加に基づく有害性情報である。本製品において酸化チタンは、製品(樹脂ペレット)中に含有されており、該当物質が製品から分離して、粉塵、ガス、ミスト、蒸気として吸入される恐れがないため、「分類できない」とした。

## 安全データシート

13/16

製品名: ザイロン(PS 系非難燃)

SDS 整理番号: XY-J009-10

作成: 平成 15 年 10 月 01 日

改訂: 平成 25 年 7 月 3 日

## 【別表】石油系炭化水素油の分類

労働安全独立行政法人、製品評価技術基盤機構(参考文献1)が公開している「鉱油」の分類は以下の通りであるが、本製品に使用している石油系炭化水素油は下記分類には該当しないと判断して上記分類を実施した。

健康に関する有害性	GHS 分類 <sup>1)</sup>	本製品に含まれる鉱油の分類
急性毒性(吸入、粉塵、ミスト)	区分4	分類できない a), b)
皮膚腐食性/刺激性	区分3	分類できない b)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2B	分類できない b)
生殖細胞変異原性	区分2	分類できない a), b)
発がん性	区分外(高精度精製油)	分類できない a), b)
標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分2(肺)	分類できない a), b)
標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分1(肺、皮膚)	分類できない a), b)
引性呼吸有害性	区分1	分類できない a), b)

分類根拠

a) メーカー製品安全情報(SDS)

b) EC European Commission, European Chemical Bureau "IUCLID", (2000)による

## 12. 環境影響情報

以下に GHS による分類を示す。下記成分単体における有害性情報は、参考文献 1)、2)、6)に記載されている分類に基づいた。

カーボンブラックの分類は、メーカー情報(参考文献 7)に基づいた。

	樹脂成分 無機フライ その他添加剤	石油系炭化 水素油 (鉱油)	カーボン ブラック	酸化チタン	酸化鉄	複合酸化物	製品としての 分類
含有量	≥87wt%	0~7wt%	0~3wt%	0~5wt%	0~5wt%	0~3wt%	
水生環境有害性(急性)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類 できない
水生環境有害性(慢性)	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類 できない

## 13. 廃棄上の注意

廃棄においては、関係法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って、都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者もしくは、地方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。本製品を含む廃棄物(廃液、固体物等ならびに洗浄排水)を直接河川に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避けること。焼却する場合は、焼却設備を用いて、大気汚染防止法等の諸法令に適合した処理を施して処理する。尚、本製品を使用後、本製品容器(紙袋、ドラム缶、フレキシブルコンテナ等)を廃棄するときは、本製品の残留が無いことを確認し

## 安全データシート

た上で、関係法規に従って廃棄し、他に転用しないこと。

**14. 輸送上の注意**

## 国際規制

IMDG(国際海上危険物規則)コード	該当しない
ICAO-TI(国際民間航空機関技術指針) / IATA-DGR(国際航空運送協会危険物規則)	該当しない
国連番号	該当しない
国連分類	該当しない
国内規制	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	梱包袋が破れないように水洩れや乱雑な取り扱いをさける。もし、破袋してペレットが飛散した時は、滑って転倒しないように特に注意する。 空気輸送の場合は、静電気災害防止対策を行う。

**15. 適用法令**

消防法	指定可燃物(3000kg以上)に該当する。
化学物質管理促進法(PRTR 法)	該当しない。
労働安全衛生法	本 SDS 記載のグレードは、以下の名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、政令第 18 条の 2 別表第 9)を添加剤、着色剤として閾値以上含有することがある。  ① 政令番号 第 38 号 「アンチモン及びその化合物」 ② 政令番号 第 130 号 「カーボンブラック」 ③ 政令番号 第 142 号 「クロム及びその化合物」 ④ 政令番号 第 172 号 「コバルト及びその化合物」 ⑤ 政令番号 第 191 号 「酸化チタン(IV)」 ⑥ 政令番号 第 192 号 「酸化鉄」 ⑦ 政令番号 第 312 号 「シリカ」 ⑧ 政令番号 第 379 号 「銅及びその化合物」 ⑨ 政令番号 第 418 号 「ニッケル及びその化合物」 ⑩ 政令番号 第 168 号 「鉱油」
化学物質管理促進法(PRTR 法)	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律	該当しない。

**16. その他情報**

## 安全データシート

15/16

製品名: ザイロン(PS 系非難燃)

SDS 整理番号: XY-J009-10

作成: 平成 15 年 10 月 01 日

改訂: 平成 25 年 7 月 3 日

---

本製品安全データシート(SDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、SDS 中の注意事項は通常の取扱いを対象にしたもので、製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社は、SDS 記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

### 参考文献

- 1) 独立行政法人、製品評価技術基盤機構、GHS 分類結果データベース  
<http://www.safe.nite.go.jp/ghs/index.html>
- 2) 中央労働災害防止協会、GHS モデル MSDS 情報  
[http://www.jaish.gr.jp/user/anzen/kag/kag\\_main01.html](http://www.jaish.gr.jp/user/anzen/kag/kag_main01.html)
- 3) 日本産業衛生学会誌、「許容濃度の勧告（2012 年度）」
- 4) ACGIH, "Guide to Occupational Exposure Value, (2012)"
- 5) ACGIH, "TLVs, and BEIs® Based on the Documentation of the Threshold Values for Chemical Substances and Physical Agents & Biological Exposure Indices", (2012)
- 6) IARC Monographs (Vol. 1-95, 29 Nov. 2006)
- 7) 三菱化学、安全データシート(三菱カーボンブラック)、2011 年 4 月 28 日改訂版

AsahiKASEI

旭化成ケミカルズ

## 安全データシート

16/16

製品名:ザイロン(PS系非難燃)

SDS 整理番号:XY-J009-10

作成:平成 15 年 10 月 01 日

改訂:平成 25 年 7 月 3 日

# JAMP MSDSplus

## MSDSplusに関する情報

使用書式	Ver.4.0
物質リストバージョン	3.020
GPシートID	9999999999999999
シート整理番号	XY-J009-10
初版	発行日付 2007-10-01
改訂	改訂日付 2013-06-07
	改訂履歴 10

## 1. 製品情報

製造者会社名		旭化成ケミカルズ
製品名		ザイロン
発行者型番	英字表記	Please refer to grades in this SDS.
	母国語表記	対象グレードは、本SDSの製品名欄を参照下さい。
一般商品名		ポリフェニレンエーテル樹脂

## 2. 発行者会社情報

会社名	英字表記	ASAHI KASEI CHEMICALS CORPORATION
	母国語表記	旭化成ケミカルズ株式会社
会社ID	登録機関ID	
	会社ID	
発行部門	部門名	機能樹脂事業部 能樹脂開発・マーケティング推進部 ザイロン営業部
	住所	東京都千代田区神田神保町一丁目105番地
	電話番号	03-3296-3386
	FAX番号	
	メールアドレス	
作成部門	部門名	
	電話番号	
追加情報		

### 3. 製品中の管理対象物質情報

製品中の管理対象物質情報に関する宣言 1.本製品は下記の管理対象基準に掲載される管理対象物質を含有します

注1 製品を構成する物質のうち、対象管理基準の管理対象物質となっている物質が含有されている（「意図して添加している」または「なんらかの方法で含有が既知である」）

という情報がある場合は「1(または含有時の記号)」と記載しています。

但し「1(または含有時の記号)」の場合でも必ずしも法規制対象とはなりません。用途や使用条件等によりますのでご確認ください。

注2 下記内容について、補足説明がある場合は記載しています。

注3 その他、詳細については「JAMP MSDSplus作成の手引き」及び「JAMP管理対象物質解説書 及びJAMP管理対象物質説明書」をご参照ください。

注4 当社は、本MSD<sup>plus</sup>に記載してある事項について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

Table 1. Summary of the main characteristics of the four groups of patients.

物質名	CAS番号	最大含有率	備考 注2		JP 01	JP 02	JP 03	EU 01	EU 02	EU 03	EU 04	EU 05	EU 06	OT 01	IA 01	IA 02
			品名	別称												
C.I. Pigment Green 50	68186-85-6	3.0%	特定の色番号に含有の可能性あり												D	
Antimony nickel titanium oxide yellow	8007-18-9	3.0%	特定の色番号に含有の可能性あり									1			D	

#### 4. 管理対象基準の詳細

管理対象基準名		制定・改訂
JP01	化審法(第一種特定化学物質)	2010-04-01
JP02	安衛法(製造等禁止物質)	2007-09-07
JP03	毒劇法(特定毒物)	2007-08-15
EU01	RoHS指令	2011/65/EC
EU02	ELV指令	2011/37/EC
EU03	CLP [Annex VI Table 32 CMR-cat. 1.2]	ECNo 618/2012
EU04	REACH Annex XVII [除 CLP Annex VI Table 32 CMR-cat. 1.2]	ECNo 848/2012
EU05	REACH 認可対象候補物質(SVHC)	2012-12-19
EU06	POPs Annex I	2012-06-20
OT01	ESIS PBT [Fulfilled]	2008-10-28
IA01	GADSL	2012 GADSL Version 1.0
IA02	JIG	JIG-101 Ed 4.1